



町長日誌 No.33

町長日誌の第33号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

4月18日(火) PM6:00

先ほど助役との打ち合わせが終わり、これからこの日誌を書かなければなりません。しかし、陽が長くなったのには驚きです。6時を過ぎたのに未だ明るいので、残雪が多いためか春を感じづらい今年ですが、やはり春は一步一步近づいています。新年度のスタートが暦の関係上3日と言うこともあり4月がバタバタと過ぎていくような気がしています。今回、病院長含め4名の退職があり4月1日付けで若干の人事異動をおこないました。また、職員の給与も3年間の自主削減期間が終わり普通体系に復元しましたが、今年から国が示す新しい給与表(8級制から6級制)を採用するため、逆に給与が下がったりしばらく上がらなかったりと、厳しい給与となりますが一般の雇用者の皆さんはもっと厳しい時代ですから、職員にも辛抱してもらいます。

さて、毎日のように開発建設部や網走支庁などで転勤してこられた方がご挨拶に見えられます。お話を伺いますと皆さん単身赴任とのことで私や役場職員には転勤がありませんから大変だなと思います。先日ある先輩町長が「今回の道庁の人事異動で初めて農政出身者が副知事にならなかった」とおっしゃられていましたが、農林水産業大国と言われ食料自給率180%の北海道の3人の副知事の一人に麻田さんに代わる農業政策に精通した人がいないということに私も先の不安を感じてしまいました。

3月22日(水)

最近多発している子供が犠牲になる犯罪や高齢者狙いの犯罪の撲滅とそのような犯罪者を興部町に近づかせないことを目的とした「安心安全のまちづくり推進会議」を開催し、町内様々な関係者にご案内をしたところ60名を超える皆さんにお集まりいただき、散歩等の時間帯を工夫したりして「さりげなく大人が子供たちを見守ろう」と意思の統一を行いました。変質者や悪徳業者は見られること・声を掛けられることを嫌うそうです。不審者を見ましたら直に警察や役場住民課にご連絡ください。よろしくお祈りします。



牛乳無料配布の様子

4月7日(金)~8日(土)

J A興部青年部の部長小島克也さんを先頭に11名の部員の皆さんが2日間に亘って札幌駅前やS T Vラジオ日高晤郎ショーで牛乳やコンデンスミルクなどの無料配布を行う「ミルクのもの運動」に一緒させていただきました。ご承知のように年明けから酪農家は生産調整や搾った牛乳の廃棄を行って年度末である3月をしのぎました。しかし今年も昨年より3%減産と言うことで農家や地域経済に与える影響は計り知れません。その中、将来を担う青年部の皆さんののぼり旗や看板を持って通行の人に消費を訴えるその意気込みに感激をして、少しばかりのお手伝いをしました。半年間の予定で定期的なPR運動をするようですので、町民の皆さんの牛乳・乳製品の消費も含めた応援よろしくお祈りします。

3月31日(金)

久我医師に代わる新しい内科医師“堀泰之”さん(35歳)が夕方札幌より到着しました。堀医師には4月1日から院長として勤務していただきます。久我先生同様札幌医大第4内科(消化器内科)からの派遣で任期は1年間ですが、内視鏡を得意としていますし、とても優しい人柄の先生ですので検査などいつでもご相談ください。なお、外科については渡会医師そして内科の応援として奈良医師に引き続き勤務していただきますのでよろしくお祈りいたします。

4月の6日から老人クラブ総会が順番に開催される限り出席をしていますが、毎年一人二人とお亡くなりになったり病気療養中で姿が見えなかったり、逆に未だお若いと思っていた人が加入したりして歳月の流れを感じてしまいます。かく言う私も孫がいる歳になったのですから不思議ではないのですが、さて、今年もオホーツクサイクリングに出ますので体重を少しは減らす努力をしようと日夜考えている今日この頃です。では、また。



町長のメールアドレスは、mayor@town.okoppe.hokkaido.jpです。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。